

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	群馬県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	高崎市立片岡中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	1	13	23
生徒数	152	127	143	1	423	

研究の概要

1. 研究主題

**確かな学力の定着を目指した指導の工夫**  
- 個に応じたきめ細かな指導を通して -

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

習熟度別の少人数授業

- ・ 2年生数学(生徒の理解度に差が出やすい教科、学年であるため)
- ・ 3年生数学(生徒の理解度に差が出やすい教科、学年であるため)
- ・ 2年生英語(生徒の理解度に差が出やすい教科、学年であるため)
- ・ 3年生英語(生徒の理解度に差が出やすい教科、学年であるため)

TT

- ・ 1年生英語(きめ細かな指導のため)

朝の読書

- ・ 1・2年生総合(基礎基本の徹底にかかせないため)

地域の人材を活用した選択教科

- ・ 3年生選択(本物に触れる機会を与えるため)

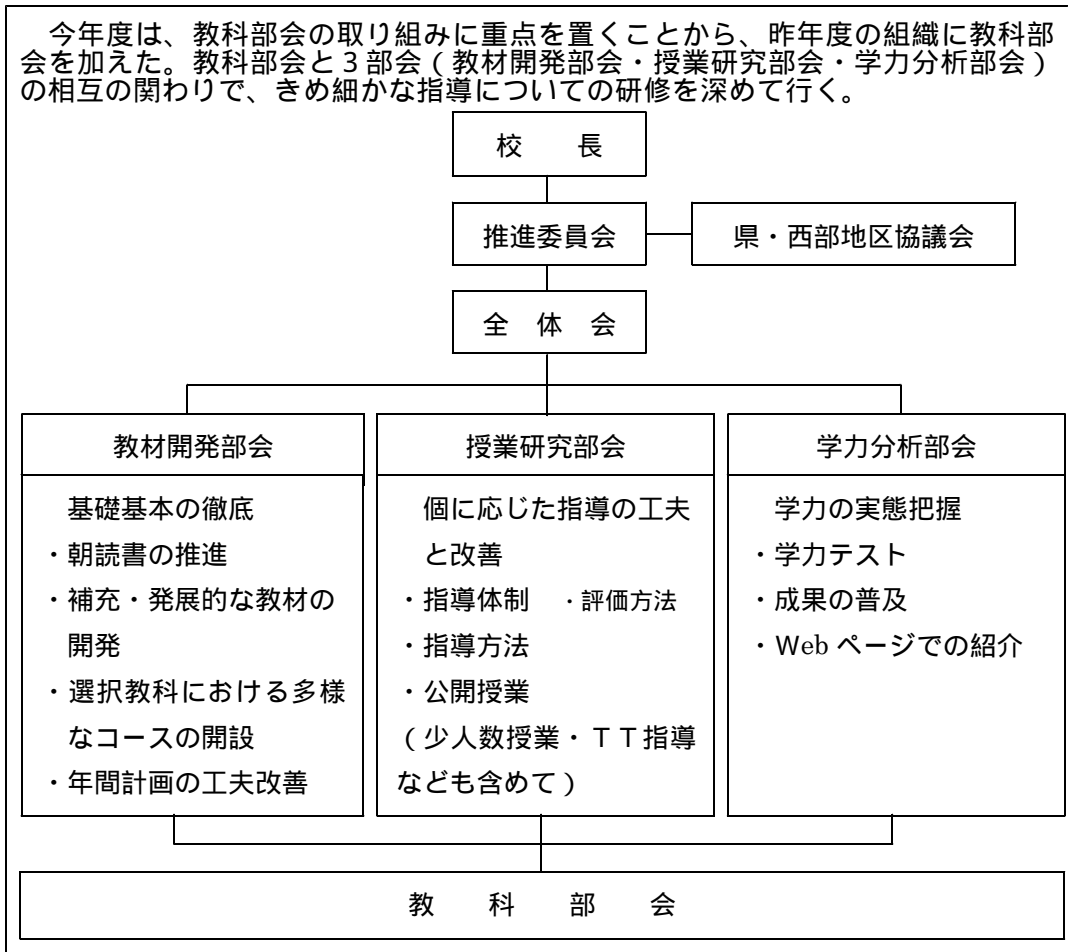
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 確かな学力の定着を目指した指導の工夫</p> <p>研究の見通し(仮説)</p> <p>習熟度に応じた少人数指導やTT指導を行い、きめ細かな指導を効果的にすすめれば、確かな学力が身に付くであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補充教材の作成(英・数)</li> <li>・ きめ細かな指導の検討</li> <li>・ 指導案形式の作成</li> <li>・ 学力の実態把握</li> <li>・ 「朝の読書」活動の実践</li> <li>・ 習熟度別クラス編成の方法を検討</li> <li>・ 習熟度別学習に関するアンケートを実施</li> <li>・ 成果の普及</li> <li>・ 選択教科の拡充</li> </ul>
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 平成14年度のテーマを継続</p> <p>研究の見通し</p> <p>習熟度に応じた少人数指導やTT指導を行うとともに、全教科にわたりきめ細かな指導を効果的にすすめれば、確かな学力が身に付くであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>14年度の実践を踏まえ、教科の取り組みに重点を置いた研究とした。全教科できめ細かな指導を行い、教材開発、指導法、評価の3つの点において研究を進め、まとめを行った。</p>
--------	--

平成 16 年 度	<p>テーマ 平成15年度のテーマを継続          研究の見通し 平成15年度の仮説と同じ          研究の内容・方法          各教科の取り組みを自教科にも取り入れるなど工夫した指導に取り組む。          また、これまでの研究の成果をまとめ、研究発表会を行う。</p>
--------------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

3部会による取り組み

- ・きめ細かな指導にかかわる教材開発と事例集の作成を全教科で行うことができた。
- ・全校の朝の読書活動について、2回目の実施状況のアンケートを行い、改善点を見つけることができた。
- ・昨年度に引き続き、外部人材を活用した選択教科を行い、生徒の意欲化が図れた。
- ・補充的な選択教科の時間を導入し、基礎学力の向上を図ることができた。
- ・全教員・全教科できめ細かな指導を意識した授業に取り組み、指導事例集が作成できた。
- ・各教科、各教員が取り入れているきめ細かな指導の方策を、教材、指導、評価の3つの観点で整理し、まとめを行うことができた。
- ・習熟の程度に応じた少人数指導に関する2回目のアンケートを実施し、前年と比較しながら集約を行い、成果や課題が明らかになった。
- ・テストではかれる範囲の学力について、教研式学力テストを用いて考察し、実態及び成果と課題を明らかにすることができた。

教科部会による取り組み

- ・きめ細かな指導に視点を置いて、年間指導計画の見直しを行うことができた。
- ・きめ細かな指導を行ううえでの教材開発を行い、指導に生かすことができた。
- ・きめ細かな指導を取り入れた研究授業を全員が行い、指導方法の改善に生かすとともに指導事例としてまとめることができた。

昨年度と比較データ

少人数指導に関するアンケートを実施した結果、質問全般にわたり非常に良好な結果が出た。そのうちの一部として、英語科に関するアンケートを用いて、14年度に2年生だった生徒が3年生になってどのように変容したかを示す。

(単位：人)

1. あなたは、英語を勉強することが好きですか？

	好き	少し好き	余り好きではない	好きではない
14年	28	53	42	8
15年	36	54	37	8

2. あなたは、英語が得意ですか？

	得意	まあまあ得意	余り得意ではない	得意ではない
14年	11	36	47	37
15年	19	42	49	25

3. 少人数に分かれた今のクラスは、自分の力に合っていると思いますか？

	思う	少し思う	余り思わない	思わない
14年	54	52	23	2
15年	63	59	11	2

4. クラス全員で授業するより、少人数に分かれたほうが良いと思いますか？

	思う	少し思う	余り思わない	思わない
14年	72	46	11	2
15年	88	39	5	3

2. 今後の課題

- ・きめ細かな指導について、全教科で教材、指導、評価についてまとめたものを、自教科の指導にいかす実践。
- ・担当教師間の打ち合わせの時間を確保すること、及び教師の話し合いによる、より充実した指導の工夫。
- ・アンケートの結果や学力の定着状況に基づいて、少人数指導の効用を検討すること。
- ・学力の定着を確かなものにするための家庭学習に関する指導

## 学力把握のための学校としての取組

- ・「教研式全国標準診断的学力検査」の実施と結果の考察
- ・生徒対象の少人数指導についてのアンケート結果の分析

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 研究会、説明会等の開催実績及び開催予定  
・平成15年6月18日(水) 2年数学、2年英語の習熟度別による少人数  
編成の授業公開
- HP作成等の工夫の実績及び今後の予定  
・URL:[http://ted.city.takasaki.gunma.jp/kataoka\\_chu/index.htm](http://ted.city.takasaki.gunma.jp/kataoka_chu/index.htm)  
研究成果は、HP上に随時掲載

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               3学級以下                       4～6学級  
                                  7～9学級                       10～12学級  
                                  13～15学級                    16学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       数学                       理科  
                                  外国語                       音楽                       美術                       技術・家庭  
                                  保健体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                       無